

(別添 4)

【蔵王町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領、中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年1月)等の内容、及びその後の政府の議論を踏まえ、蔵王町では、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを活用し、「みらいスクールざおうプロジェクト^{*}」の推進を図り、以下の学びの姿の実現を目指します。

(1) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

1人1台端末を活用することで、児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じた、指導方法・教材や学習時間の柔軟な提供・設定を行い、それぞれの学習ニーズに応じたきめ細やかな指導を実現します。また、児童生徒が他の児童生徒や地域の方々と共に課題解決に取り組むなど、多様な人々との協働を通して学びを深め、共に創り上げていく力を育みます。

(2) 情報活用能力の育成

変化の激しい社会を生き抜くために必要な情報活用能力を育成するため、情報モラル教育やプログラミング教育を充実させるとともに、情報収集・整理・分析・発信・共有といったスキルを、教科等横断的に育成します。

2. GIGA 第1期の総括

蔵王町では、国の GIGA スクール構想に基づき、令和2年度末までに全児童生徒分の学習者用1人1台端末と、オンラインで利用できる環境を整備し、学校現場の ICT 化を推進してきました。

(1) 成果

情報教育指導員の配置により、全ての学校で端末を活用した授業が日常的に行われるようになり、教職員の業務負担軽減にも繋がりました。また、デジタルドリル等を活用した家庭学習など、様々な場面で1人1台端末が活用されるようになり、児童生徒の学習意欲の向上や学習環境の整備に繋がりました。

(2) 課題

学校間や教職員間における ICT 活用状況や ICT 活用能力に差が生じていること、機器の操作やシステムの理解、活用するアプリの整理など、教職員がスムーズに活用できるようにするための支援体制の不足、通信帯域の不足によるネットワークの不安定さなどが課題として挙げられます。

(3) 解決策

「みらいスクールざおうプロジェクト」の一環として、情報教育指導員によるサポート体制を強化し、教職員の ICT 活用に関する不安や疑問を解消します。また、教職員の ICT 活用能力向上のための研修を充実させるとともに、ICT 活用リーダーの育成に取り組み、学校間・教職員間で優れた実践事例を共有し、町全体の情報教育、教科指導における ICT 活用のレベルアップを図ります。

ネットワークアセスメントを実施し、通信帯域の不足等の問題点を特定し、必要に応じて機器の入れ替えや通信契約の変更を行います。

3. 1人1台端末の利活用方策

蔵王町では、「みらいスクールざおうプロジェクト」の重点施策として、1人1台端末環境の維持を前提に、GIGA 第1期の総括を踏まえ、以下のように利活用を推進します。

(1) 学校・家庭における積極的活用

家庭学習の習慣化を図るため、家庭学習における1人1台端末の活用を促進します。小学校中学年以上は毎日の持ち帰りを目標とし、成長段階に応じた積極的な活用を図ります。また、AI型デジタルドリル、個別学習アプリ、タイピング練習アプリ等の活用を促進し、学校内外での活用を充実させます。

(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

学習支援ソフト、授業支援ソフト、デジタル教科書等を積極的に活用し、児童生徒一人一人の理解度や学習ペースに合わせた個別最適な学びを実現します。

1人1台端末を活用し、児童生徒が「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じた、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。また、他者参照などにより他の児童生徒の取り組みを参考にしたり、多様で大量の情報に触れたりする機会を増やし、情報活用能力の育成を図るとともに、協働的な学びを促進します。

(3) 学びの保障

教室での授業を受けられない児童生徒、その他の特別な支援を要する児童生徒に対して、1人1台端末とネットワークを活用した学習機会の提供を継続・充実させます。

希望する児童生徒や保護者に対して、端末を活用した教育相談を実施したり、外国人児童生徒に対して、端末を活用した学習活動の支援をしたりします。

障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を必要とする児童生徒に対して、1人1台端末を活用した、それぞれの実態に応じた支援を実施します。

情報通信環境に左右されない学習支援体制を構築するため、オフラインでも利用できる学習支援アプリの導入や、公的施設におけるインターネット利用環境の提供など、必要な対策を講じていきます。

※ みらいスクールざおうプロジェクト

蔵王町の学校教育の重点施策「ざおうみらいアタック5！」の中の一つである「ICT教育の推進」として掲げた、以下の四つの取組です。

- ・ICT機器を活用した効果的な授業を実践します。
- ・家庭でタブレットを使った学習ができる環境を整えます。
- ・外国の子どもたちとの交流学习を進めます。
- ・情報教育指導員を配置し、小中学校を巡回して先生方にICT機器の使い方や授業での活用の仕方を指導します。